夕刊
磐城新聞
九月十七日發行
定價　一部金五錢　一ヶ月金六拾五錢（郵税拾五錢）
廣告料金（普通頁金六拾錢　特別頁金九拾錢）五號十二字詰一行（場所指定一行貳錢增）
編輯印刷兼發行人　柏木[illegible]　福島縣石城郡平町[illegible]十六番地
發行所　磐城新聞合名會社
登記交換電略（タイライワキ）　平局私書函第十二號　電話五大四番
（日曜祭日翌日休刊）

個性と作品

上

青木淳

文學に於て、用よる個性といふ言葉には、二つの意義がある。一つは人間それぞれな內部的心的傾向、即ちパーソナリティであり、一つは描寫の對照となる個々の事象の特異性、即ちインデビジュアリティである

さて今、後者のインデビシュアリティをば暫く措いて、パーソナリティと作品との關係について觀察してみると、ものを表現せんとする場合このパーソナリティ（以下個性と書く）の、ひらめきがなかつたなら、それは全く藝術として生命を既に喪失してゐるものである。丁度繪畫の下手なものがどうかして、上手に見せるために、上手なものの繪を探し出して、その繪の上に薄紙をのせて、きれいに寫し取り、それを自分のものとして發表するやうなもので、何等そのものゝ個性の、ひらめきがなく描かれたものに生命の宿りがない。この意味に於ても、自分の個性の如何に脅いものであるかを考へずにゐられない

俳句や詩歌等に於ても抒情的な表現は勿論、叙事といふやうな客觀的描寫に於てもそれは單に事象に向つて捧げられた、研ぎすました鈔でなくして、その內容は一度作者の個性及至品性から迸し出づるものでなければならぬ

その味ふべき處の情味といふものは作者の個性を通じて始めてよく味ひ得られ尊敬さるべきもので、單なる客觀的な描寫に於てもその通りであるから、況んや作品自身の內に藏してゐる處の詩想なり、構想、換言すれば、表現への過程である內術品より外術品に進みそれが發表さるべき、すべてのものは尚更個性のあらはれがなければ、それは無價値なものでなければならない

又、作品の內容ばかりでもなく、その作品の形式、即ち文章の上を流るゝ、リズム或は階調等も皆、これは作者の心のリズムや呼吸の緩急等に影響せられて決定するものであるから、斯ういふ表現形式の方には個性の力が、色鮮に影を投げてゐねばならない

だから文章なり俳句なりその他の作品にしろ眞に獨創的になればそれに從つて作者の個性といふものは內部的にも外部的にも、明かな色彩をもつて表はれて來るものである

花！、それが特殊の美、香を持つてゐるやうに、個性に深くも根を下してゐる作品は、從つて特殊な美香と、深さを持つてゐる筈のものでなければならない

或る日吟

新莊ツネ

○幾筋の白雲うすくたなびきてこの朝の空はいや清々し
○石ころの道を歩けば所々小さき草のめぶきたるあり
○手折りきて瓶に活けたる白百合の今日の眞晝に花をひらけり
○朝より風蕭々しく吹き出でて曇れる空に雨よぶ氣配
○書を讀むいとまなけれどこの頃の忙しきくらしになれてうれしき

旅路の雨

加藤あきら

雨はしとしと
旅路は　長し
宿場　何處やら
日は暮れかかる

傘も　衣も
重たく　濡れて
ひとり　とぼとぼ
涙の旅よ

心　淋しや
まだ　宿　見へぬ
晴れて呉れぬか
旅路の雨よ

社會の今日

9月18日

△文壇の耆宿德富蘆花氏逝（昭和二）△満洲事變起る（同六）△五・一五事件の柴山塾頭捕はる（同七）

○

今宵見れば月は圓しも二人居て、見るこの月は今宵圓しも
榛原理一郎

殘る蚊の影よろぼへり夜の壁
良太

次回新講談豫告

目下本紙上に連載して讀者の大好評を博しつゝある講談は惜しくも近日大團圓を告げることゝなつた。就て種々詮衡を重ねた結果、丸山寬雄氏の『山の怪秘』の一篇を選定、近日の紙上より連載する事となつた。作者は東洋大學出身の俊才、神田劇場文藝部員、明石潮一座の脚本部員等を經て、長田秀雄氏の白夜會の幹事の職にある近時稀に見る健筆家、挿繪の浪木眞氏は之亦丹青界の新進、丸山氏の靈筆と共に必ずや諸賢の御期待に反かざる事と信ずる。御愛讀を乞ふ。

戸隱奇譚　山の怪秘

丸山寬雄氏作
浪木眞氏畫

（作者の言葉）

自分がこの長篇傳記物語を草する動機となつたのは一夏、山岳の起伏層疊たる信濃の高原に遊んで、親しく自然の威容に接し、その大らかな靈感に打たれたからである。遠く應永の昔に根を下した宗門の紛爭は、德川の末世までも續いて、山容水態の平穩なこの山間にも、人と人との軋轢があつた。山と山と、人爲と自然と——その間に織りなされる運命の機は、巧に上下してこの物語りを形造つたのである。自分はその物語を最も興味深く讀者に傳へることを使命として、充分に努力して見やう。願はくは御愛讀を賜へ。

……梗　概……

謠曲の平維盛紅葉退治で名を得た信州戸隱山に眞言天臺の二寺があつた。應永の昔から宗門の確執を生じて德川末世に及んだ。天臺派顯光寺の譜代職刈馬平左衛門の一子平九郎は、眞言派西行寺の若き寺侍岡庭典膳と果し合つた夜、顯光寺の寺寶は何者にか盜出され、刈馬平九郎は寺寶の行衞と仇敵岡庭を趁つて江戸へ向つた。途中奇鳥佛法僧の案內で寺寶の所持者は判つたが、岡庭に妨げられて寺寶を取戻すことが出來なかつた。犯人は鬼女紅葉の籠つた荒倉嶽の女賊呉葉と瀧之丞である。平九郎は愛人お豐を得たが、岡庭のために拉し去られ、剩へ己れも奸計にかゝつた。然しその都度、尼僧天靈や白痴馬鹿彥、草津圓岩の奇族等の援助によつてお豐を取戻し遂に寺寶も手に入れることゝが出來た。岡庭は刈馬平九郎のために討ち取られ、呉葉と瀧之丞は自業の兇刃に殪れる。以上が本篇の骨子である

講談　浪人長屋

(194)

日岐武志作
月草道子畫

また玄內

靜香は無念さくやしさに齒をくひしばり、ぢつと耐へて眼を閉ぢてゐた

「へーえ、まだ眠りたりねゑですな。ゆつくりと休みなせえよ。座敷料はいらねえ。先生の家だ、場所は品川宿在だよ」

先生といふのは、玄內のことである

「先生は、まだ歸らねえ。ぢきに歸つてくる。そしたら、しつかりと先生に大變にして貰ふがいゝ。今度といふ今度は、てえげいに度胸を据ゑて、素直になつた方が、お前さんのためだよ鐵彌なんて腰抜けに、いつまでもうつゝをぬかしてゐるのはよせよ。鐵彌といひや、あいつを逃がしちまつたのは惜かつたな。今朝おいらと先生とで、露月町の小間物屋へさぐりに行つたんだが、惜いことにあいつと蛇遣ひの奴、どつかへ旅立つてしまやがつた。まあいゝ、お前だけ連れて來たからにや、褒美にありつけらあ。どれ、も一度……」

紋六は、また靜香の頰をつねると大聲で笑ひながら出て行つた

暫くすると、のそりとして玄內がはいつてきた

「またきた喃、靜香」

錆のある聲で、さういひながら玄內は、いやしい笑みをうかべて靜香の側へ寄つて座つた

「よく〳〵、わしとは縁が深いと見えるな」

靜香は、玄內がはいつて來たとき、ちらりと一瞥したゞけで、顔をそむけたまゝ眼を閉ぢてゐた

「先頃、刺文の家では、お蝶の奴に邪魔をされたのでこゝろを殘して退散したが今日といふ今日こそは……！」

と、いひながら膝で、にじり寄つてゐた

「どうぢや、わしと一緒に暮す氣にならぬか、わしはお前の親父を殺したことに違ひはないが、あれはお前を逃れ出すには、あゝするより外はなかつたのだ」

——なんといふ厚かましくも淺ましい奴だらう……と、靜香はおもつた

じぶんの親の敵であり、そして鐵彌さまの敵である玄內を、現在かうして目の前に見ながら恨み一ついへぬ口惜さ

「都築鐵彌も、江戸にきてわしを探してゐたが、玄內は江戸にはをらぬと思つてか、今朝何處かへ旅立つたさうぢや。馬鹿なやつぢやお蝶のやつも、鐵彌にくつついて、どこまでゆくのかあいつも馬鹿な奴ぢや。あいつも、昔このわしが自由にしたことがある、だからあいつの左の足裏には、お前とおなじやうに、まだら蜘蛛が一匹、喰ひついてゐる」

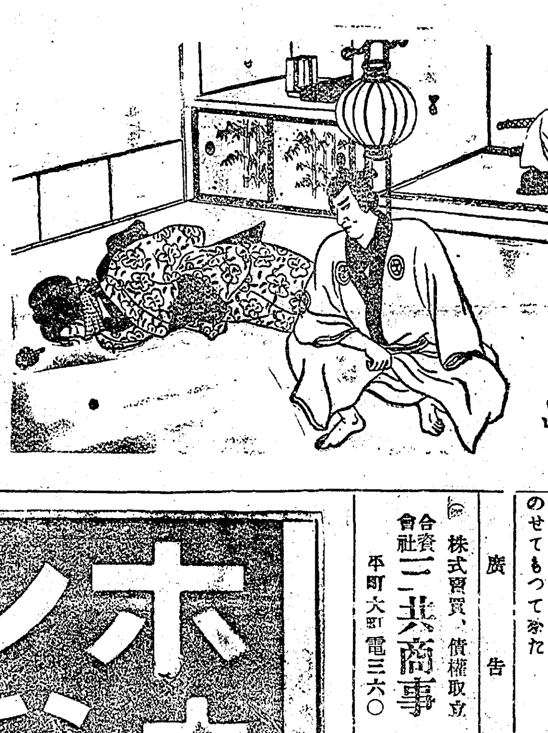
玄內は、勝ち誇つたやうにニヤリとしてゐた

「お蝶は、このわしを、ひどく恨んで、それ以來、蛇を遣ふ術を覺ね、魔性の女になつてゐる。お蝶は恐ろしくはないが、わしがこの世で恐れてゐるのは、あの蛇だ、凄い毒蛇だ。先達てお新があいつに嚙まれて、たちどころに參つてしまつたのを、お爺も見てゐたであらう。あの蛇の爲に、わしは四人手下を失つてゐるわしはいつか、お蝶をやつつけてやらうと、おもつてゐる」

さういつて、玄內は一瞬キラリと眼をかゞやかせたが、すぐまたニヤリとして靜香の横顔を見た

「先生、おそくなりやして……」

紋六が、酒肴を盆の上にのせてもつて來た



廣告
株式賣買、債權取立
合資會社　三共商事
平町大町　電三六〇

外科
內臓外科
レントゲン線
◁病室完備▷
醫學博士　諸橋鐵彌
新川町二七（電四六四）

良い運動具は良い選手を作る
○野球用具
○競技用具　ユニホーム類
斷然!!!　安賣
一チーム分は特別御相談致し升
競技用スパイク　四、五〇
常に新しき型と念入りな製作
弊店自慢の品
御用は
田町　大塚運動具店　電話七七番

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

小店員數名募集
十三歲より十七歲迄
心身强健なるもの
獨立の際は必ず援助す
（詳細は磐城新聞社宛照會の事）
東京市日本橋區大傳馬町三丁目壹番地貳
內外各種糸物商
株式會社　藤掛商店
電話浪花(67)　〇、三五二番　五、一二四番　二、六四一番
振替東京三、一四〇番
電信略號（フ）受信登錄（トウキヨウフヂイト）

吸入用酸素　純度99%
度量衡　モノサシ　マス　ハカリ
計量器　体温器　寒暖計
◎秤ノ取[illegible]　[illegible]修[illegible]　致シマス
關內藥局　電話四〇番

磐城鐵工機械同業組合

ホシ胃腸藥
ホシチヤーコール錠

全國民一人殘らず服用せよ
而して胃腸を健全にせよ

◇「ホシ胃腸藥」の效能に就ては改めて申上げるまでもありますまい。
◇「ホシチヤーコール錠」は慢性胃腸病の根本的な治療藥であると言ふ事が出來ます。
◇胃痛、胃カタル、胃病、胃擴張、胃腸カタル、腹痛を速かに治します。
◇其の他食慾不振、惡心、嘔吐、食中毒、胸やけ、胸つかへ等に特によく効きます。「ホシチヤーコール錠」があれば宿醉は知らずに濟みます。
◇飲酒、腐つた肉、古い果物、野菜、[illegible]、水あたり等による中毒に對しての「ホシチヤーコール錠」に限ります。
◇胃腸內の醱い酸類は皆んな吸收して何等の副作用なく、體外に排泄する故に、惡疫流行時の胃腸病豫防藥としては本劑に限ります。
◇老衰の原因となる毒素を速かに體外に排除するが故に若返りの根本藥と云つてもよいと激賞した醫博があります。
◇「ホシチヤーコール錠」で血壓が降つたと云ふ人が澤山にある。腦溢血の豫防になると言ふ人も澤山あります。
◇常習頭痛、眩暈が治つたと言ふ人も澤山あります。是等の病氣も胃腸內の毒から起るのでありますから、「ホシチヤーコール錠」で治るのが當然であります。
◇動脈硬化症豫防藥として根本的なお藥だと叫んだ醫學者さんも澤山あります。
◇下痢が劇しく赤痢かと思つて心配したが、「ホシチヤコール錠」で、すつかり治つたと、逢ふ人毎に語る青年があります。
◇遠い旅先でチブスらしく非常に弱つた青年が本劑の適用で健康を回復し目的を達したと喜んで居ました。
◇交際の爲め飲めぬ酒食を強いられ、始終不快で堪らぬと言ふて居つた實業家が、「ホシチヤーコール錠」を知つてから、すつかり元氣になつたと申して居ります。
◇「ホシチヤーコール錠」の連服で不治の婦人病が治つた實例も甚だ多い、腹部の掃除が出來て、充血しなくなるから之れも當然であります。
◇家庭の常備藥として旅行家の必携藥として「ホシチヤーコール錠」位重寶なものはありません。必ず一個を常備せられよ。

大增量（從來の倍以上）
一三〇錠　〇・五〇
三一〇錠　一・〇〇

小罐〇・二〇　中罐〇・五〇
大罐一・〇〇　特大二・〇〇

東京　星製藥株式會社

ホシチエンストアー平支部
ホシ藥舖
平町三丁目三〇
電話四二九番

月曜論壇

明日を記念せよ
滿洲事變と本紙

愈々今年の明九月十八日こそ滿洲事變三周年記念日である、我が平町でも夫々盛大な記念事業を催して滿蒙の再認識を圖ると同時に戰歿犧牲者の慰靈祭を催し在天の雄魂毅魄を祀る筈であるが其につけても憶ひ新たなるものあるは當時本社が眇たる小紙乍ら郡出身の全將兵に毎日の新聞を寄贈し、忠勇なる郷黨將兵が夙夜眷戀思慕する桑梓の消息を報じ以て純眞なる信使としての微力を効し一面陣中の無聊を慰したに對して、感激に燃ゆる多數の書信に接した事である、之等は實に百數十通の多きに上り、吾人社同人は造次顚沛尚ほ所謂非常時を意識する尊貴すべき資料として匣底深く之を所藏してゐるが、而も之等の中には、帝國生命線守護の第一線に玉砕して芳名を竹帛に垂るゝ何名かゞある、身を以て君國に殉じた此種幾柱の英靈は、今や燦然たる友邦大滿洲の建國に對して、蓋し泉下に莞爾たるものであらうが、翻つて之等護國の鬼と化した人々の骨肉近親中には、胸を張り大手を擴げて之の日を强く記念するに方つて蒼白なる微笑に丈夫の血涙を紛らす何人かゞ存する事を念ひ尊い其の易簀をより有意義ならしむるの緊張を忘れてはならない、今や滿洲事變三周年記念日を楔機とし千門萬戸日章旗を掲げて日滿兩國の前途を讃美祝福するに際し本社は前掲の意味に於て感慨特に深刻なるものがあり、或は高梁の葉ずれかそけき淅瀝の夜を、瀧なす汗に喘ぐ溽暑の日を、寸閑に物せる貴重なそれ等の書狀を机上に整へ、殊に亡き數に入つた若干名の分に對しては虔んで一瓣の香を献じ哀心英靈を奉祀して措かぬ。地方小紙の云爲すべく餘りに大きな問題ではあるが、萬感洶湧する處覺に抑へ難く鐵片を呵して敢て之の一文を草す、幸にその僭越を責むる罔からん事を

廿團百五十名の健兒 秋の高月に覇を爭ふ
競技は内郷再勝武道は平に凱歌揚る
昨日の青年團体育大會

郡聯合青年團主催、參加二十團人員約百五十名の第十回郡下青年團對抗体育大會は昨十六日の日曜をトし最近稀に見る絶好のスポーツ日和に惠まれ新秋の氣澄み渡る高月台に開催、定刻小檜山會長(代理西山副會長)の開辭に次ぎ前年優勝の内郷(競技)より優勝旗、豐間(武道)より優勝カップを返還、審判長下山田磐中教諭の注意あり直ちに競技を開始したが、朝來の好コンヂションに各選手の意氣は愈々上つて一大熱戰を展開し陸上競技では三十八點で内郷再び優勝、武道は十點で平に凱歌揚り盛況裡に午後一時四十分無事閉會した

陸上競技

△百米　1柏原武三(平)一一秒九　2渡邊彌平(植田)　3瀧口今朝吉(内郷)　4益子通雄(湯本)　5中島淺義(好間)

△四百米　1猪狩五郎(草野)五四秒三(郡新記錄)　2寒河江武雄(内郷)　3淺川一男(湯本)　4瀧井七郎(好間)　5酒井新平(大浦)

△千五百米　1小板橋新一(内郷)四分三五秒五　2佐藤禰藏(湯本)　3加藤一(川部)　4楢田光男(上遠野)　5鎌田義光(草野)

△一萬米　1馬上武雄(湯本)三九分二四秒二　2菊地正雄(平)　3佐久間章(内郷)　4渡邊德之(好間)　5北村元治(大野)

△走巾跳　1丹野富士男(内郷)六米三六　2渡邊彌平(植田)　3金成亀太郎(平)

△走高跳　1鈴木武雄(内郷)一米七五　2北澤保夫(平)　3富澤敏雄(湯本)

△砲丸投　1江幡弘司(湯本)一〇米〇五　2高橋勇吉(内郷)　3山野義宗(上遠野)　4會川嘉久(草野)　5高木三平(藤原)

△俵擔ぎ　1片寄弘仲(平)三三秒(郡新記錄)　2吉田武司(内郷)　3遠藤友治(飯野)　4山野義宗(上遠野)　5大谷吉春(草野)

△千米瑞典繼走　1内郷チーム(鈴木、瀧口、加藤、寒河江)二分一三秒三(郡縣新記錄)　2湯本チーム　3大浦チーム

○陸上競技總得點　1内郷(三八點)　2湯本(二六)　3平(二一)　4草野(九)　5植田(八)　6上遠野(七)

武道

△劍道　1小野彌(平)　2小野五郎(湯本)　3澤田正幸(渡邊)　4北郷正二郎(飯野)　5荻榮(大野)

△柔道　1阿部文平(神谷)　2荒川久(上遠野)　3白井晃(平)　4椎根保美(平)　5武藤粂一(湯本)

△相撲　1山野邊政義(内郷)　2鈴木幸七(内郷)　3下坂東五郎(好間)　4鯨岡力造(大野)

○武道總得點　1平(一〇點)　2内郷(九)　3湯本神谷(各五)　3上遠野(四)　4渡邊、飯野、大野、好間(各三)

一般に沈滯氣分
機構上接戰少く
會の組織變更を叫ばる

今大會は昨年の大會より出場數が六團約五十名少く選手としても張合ひがないといつた有樣で、成績も千米瑞典繼走に於て内郷チームが縣記錄二分一三秒六を破り二分十三秒三に縮め、俵擔ぎに於て平の片寄君が三三秒フラットを得、四百米に於て草野の猪狩君〇。一秒を短縮五四秒三を出し何れも郡記錄を破つた外は何れも縣記錄、郡記錄に多少の開きがあつて一般に香はしからず、コンヂションの良かつた割合に自己の最良記錄を出し得なかつた向きが多かつた、鬼に角選手が指呼される者の外は出場しない關係から何れのレースも入選以内の人數で中には一人舞臺のものもあり接戰少く觀衆中には大會組織の變更を叫ぶものもあつた

内郷選手 優勝奉告

見事再優勝の内郷青年團選手一行十數名は大會終了後午後二時半前後留子監督を先頭に縣社飯野八幡宮及び子鍬倉神社に參拜優勝の奉告をなし歸村した

縣大會出場選手決定
粒よりの廿一名を詮衡

前記大會終了後各役員は來月十四日相馬中村町に開催さるる縣下青年團對抗体育大會の出場選手詮衡につき種々協議したが

△百米―柏原武三(平)　△四百米―猪狩五郎(草野)　△千五百米―小板橋新一(内郷)　△一萬米―馬上武雄(湯本)　△走巾跳―丹野富士男(内郷)　△走高跳―鈴木武雄(内郷)　△砲丸投―江幡弘司(湯本)　△俵擔ぎ―片寄弘仲(平)　△千米瑞典繼走―瀧口今朝吉(内郷)加藤鐵兒(内郷)猪狩五郎(草野)寒河江武雄(内郷)　△劍道―小野彌(平)　小野五郎(湯本)　澤田正幸(渡邊)　△柔道―阿部文平(神谷)　荒川久(上遠野)　白井晃(平)　△相撲―山野邊政美(内郷)　鈴木幸七(内郷)　下坂東五郎(好間)

の廿一名を選拔、今大會に於て獲得の縣新記錄一、郡新記錄三を以て再優勝を目指し出場することになつた

秋の球界を飾る
超特豪華版展開
磐陽野球期日確定

既報―秋のシーズンを飾る地方球界の豪華版磐陽野球大會は一昨十五日の主將會議に於て豫定の二十三、四が炭鑛チームに支障あるため廿三、三十の兩日曜に變更した、尚平鐵道俱樂部は選手不揃ひのため棄權した組合せ左の如し

第一日（磐中球場）

入場式　午前八時

A　高月―古河　（八、三〇）

B　平ク―入山　（一〇、三〇）

C　揚土―湯本　（二、三〇）

磐炭は不戰一勝

第二日　准決勝

Aの勝者―Bの勝者　（湯本球場九、〇〇）

Cの勝者―磐炭　（磐中球場九、〇〇）

決勝は午後二時より磐中球場に於て擧行するが、地方球界の强豪陣を網羅しての會戰は接戰熱戰の展開を豫想されて居る

○○○○平營林署零敗　濱三郡營林署對抗野球中、富岡の決勝戰は一昨十五日午後一時より富岡町小學校庭に開き七對零で平チーム慘敗した

梨果輸送車運轉
今十七日より開始

自慢の石城梨は昨今漸く出廻り最盛期に入り郡果樹聯合出荷組合の申込に係る梨果輸送列車は愈々今十七日より運轉を開始したが之は發驛綴、平、赤井、小川郷、着驛秋葉原、隅田川、兩國、山内岡、長町、其の他で來月十日迄毎日需要に應じ二車乃至三車の特別仕立貨車を連結運轉する

品評會開催
半箱の使用も決議

組合では一昨十五日午後一時から平園体事務所に於て梨荷造、品評會其の他に關する組合長會議を開き品評會を來る二十一、二、三の三日間平署會議室に開催することに決定したが、出陳は約二百五十點を豫想されて居る、尚荷造に就ては從來の五貫目箱は一般需要者に不便な所から半箱（從來の半分）を使用する事も決定した

中野氏の行訴決審か
廿七日第五回目開廷

平町新川町中野勇吉氏が縣參事會に訴願して申立相立たずの裁決を受けた七年度特別戸數割八百三十四圓四十錢ノ賦課　違法なりとした行政訴訟は一昨年十月十三日提起以來滿二ケ年來る二十六日遠藤評定官係り第五回の審問が行はれるが之を最後として遲くも來月十二日頃には判決落着するであらうと、尚八年度分四百七十四圓二十四錢ニ對する異議も過般縣參事會に訴願したが行政訴訟は取り止めに決定したと

○○○○平署劍道優勝　平署對入山炭鑛の劍道試合は昨十六日午後二時から入山小學校で開き紅白試合では平署大將以下七名を殘し、個人試合でも八對二で何れも快勝した、尚同署では來る二十三日四倉署と四倉小學校に對戰する

池田東鐵局長視察

新東鐵局長池田勝三郎氏は明後十九日午前九時三十三分着平驛構内を視察すると

○○○○磐女音樂會協議　磐女同窓會櫻丘會では今十七日午後二時より母校に役員會を開き資金造成音樂會開催に關し種々協議した

○○○○平町學務委員會　來る十九日午後一時から小學校教員退職慰勞金に關し協議

在軍青訓未教育補充兵 記念射擊大會
昨日神谷で盛況裡に開催

明十八日の滿洲事變三周年記念日に際しては豫報の如く各方面で夫々時宜の催しあるが神谷在郷軍人分會では昨十六日同村射擊場に於て在郷軍人會員、未教育補充兵、青年訓練生計百五十名の射擊大會を擧行、午前九時より　君が代合唱、皇居遙拜、時局講演（分會長木村幸雄、青訓主事鎌田安兩氏）に次ぎ射擊を行つた結果優秀射手左の如く非常な盛會であつた

（在郷軍人）一等宇佐美彌　二、片寄實　三、片寄爲義

（青訓生及未教育補充兵）一、星明（青訓）二、佐藤秀彦（未教補）三、志賀正美（未）四、酒井留雄（青）五、猪狩正男（未）

川崎信一氏送別謠曲會

磐城さゞれ會では保線區川崎信一氏の大子保線區助役榮轉送別謠曲會を十七日午後四時より平鐵道俱樂部に於て催すが曲目左の如し

羽衣、忠度、熊野、小袖曾我、大江山

八十八媼が雜巾百枚寄附

四倉町本町昆布製造業本田辰吉氏母堂まん（八八）媼は此程同町小學校に雜巾一百枚を寄附し菊地校長以下を感激せしめてゐる

失戀青年毒を仰ぐ

平町二丁目居住飯野村生れ鈴木芳秋（三三）は一昨十五日午前零時頃同家でカルモチンを嚥下苦悶中を家人が發見共濟病院にかつぎ込み生命は取止めたが原因は失戀らしいと

女は終に絶命
相手の親爺も危篤
熱心湯の猫心中其後

子持ち同志でありながら去る一月頃から道ならぬ仲となり去る三日手を携へて家出したが所持金を費ひ果して年甲斐もない不義を清算すべく一昨十五日夕刻平町六丁目旅館熱心湯事伴すゑ方で猫いらずを嚥下心中を圖つた女平町大町六九日雇業橋本忠一郎内妻眞田なつ（四〇）は直に自宅に昇ぎ込み應急手當を加へたが同日午後九時頃遂に絶命、男澤渡村字中寺製板職工小口萬太（五〇）は目下鎌田町白土醫院で加療中だが生命は取り止めるらしいと

○○○○娘前借を踏む　内郷村大字宮字金坂五六今朝藏二女佐藤イシ（二八）は去月十五日埼玉縣熊谷市料理業おか樓方に前借四百圓で酌婦に住込んだが同月二十九日夜行方を晦したので今十七日雇主から平署に取押え方を願ひ出た

捨てられた男から
夫婦同居請求訴訟
海を距てゝ三年越の紛紜

好間村大字中好間字田中六二居住大沼郡沼澤村生れ鮮魚商猪俣元（四二）が既報の如く大正六年十二月樺太西海岸惠須取町居住中娶つて三男三女を擧げた五十嵐コマ（三六）を相手取り平町增田辯護士を代理人として提起した離婚無効確認請求の訴訟は管轄裁判所が餘りに遠く流石の愛妻家も困つたが何とか法律の力で好いた女を取戻したいと長女京子（一八）以下二男三女が母を戀ひ慕つて居ると云ふ理由の下に同辯護士を代理人として此程平支部に夫婦同居請求の訴を申立てた

○○○○寶國寺入佛式　飯野村北白土白土山寶國寺は過般來本堂其他の改築中であつたが此程竣功來る三十日入佛式擧行

○○○○四倉賭博檢擧　去る十四日午後四時半頃四倉町海盛座に於て巡行中の活動辯士を湯本町生れ佐藤某外二名賭博開帳中四倉署員に檢擧され書類送檢

○○○○通行人に追突　平町驛前野崎自動車部運轉手松崎勝明（二四）は十五日午後八時頃貸切自動車を運轉、同町才槌小路馬目酒店前で磐崎村字目場坂繭仲買人松崎正晴（四二）に追突足部に全治一週間の傷害を與えた

○○○○鈴木一男公判　玉川村大字島字島一一四農鈴木一男（三六）に係る私文書僞造行使竊盜事件は一昨十五日午前十一時より平區で香西判事吉岡檢事係りで公判開廷されたが一男は昭和五年十月頃同族會社設立に際し實弟隆枝が金四百圓を同會社に出資して社員たる旨の登記を受けんと企て登記申請に關する一切の委任狀、又同月中同會社より一千圓を借用するため證書一通及び土地抵當の登記に關する委任狀を各僞造した點は全て隆枝の同意を得たものである旨滔々と供述して居た、次回は來る二十二日證人數名の喚問あると

桃色漫談
（７）

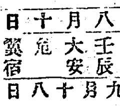
赤井嶽と性の解放
古文献をあさり廻つた
其方面の噂寄せ書き

此のつと入りが此の日に限つて性的に解放された日であつた事は、その見る目的が妻、娘、妾などの女性に重きを置いた點からも知られるとは斯界の權威である南方熊楠氏が詳細に發表して居る、更に之と少しく趣を異にするが山梨縣では古く武田信玄の遺法として國中に遊女を禁じ、その代償として毎年とも、端午から八朔迄領民の戸締りして寢るを許さず、專ら男女の交際に自由と便宜とを與へた、若し堅く戸締りして若者の出入を拒むときは、打ち破るも罪とはならなかつた（さへずり草）又以て此の類例として見ることが出來やうと思ふ

×

猶は之の場合に併せ考ふべきことは我國の正月に七月の各十六日を俗に『藪入り』と云ふてゐる事である由來藪入りの語義に就ては昔から異說が多いが今に定説を見る事の出來ぬ問題である、然るに『倭訓栞』に『金國の俗は正月十六日は恣に物を盗み他妻に戲れるも刑を加へずと宋の小說に見へたり、妻女に及ぶは大原の雜魚寢に似たり』と載せて居るが、我國の藪入りには此の金國の民俗と共通したものがあつたやうに考へられる、その一證として見るべきものは大分縣の×郡の村落では春秋二季の氏神祭の夜に祭禮が濟むと若い男女が語らひをするが之を藪入りと稱し此夜丈けは總てが許されることである（村の辻を行く）筆者は我國の藪入りの夜に性の解放される民俗は僅に之の一例しか承知せぬので餘りに綺麗な事は云はれぬが斯う考へることの必ずしも無稽だと許り云へぬやうな氣がする

諸判定願所
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神[illegible]



▲一白の人　内輪事につき苦勞多き日商賣取引には無事▲二黑の人　何事にも手出しせず常業を守れ移轉旅行凶▲三碧の人　目上の者より見放さるゝ事ありせい實が肝要▲四綠の人　樂觀は許されども萬事に細心なれば吉し▲五黄の人　從來の心配事も重荷を卸すが如く樂となる▲六白の人　節約は繁榮の基せい實努力は幸福の根となる▲七赤の人　喜びの重り至らんとする日熱心精勵すべし▲八白の人　他の誘惑に陷らざる樣思慮堅固に勉むべし▲九紫の人　諸事有利に轉回せんとする日起業計畫等吉

舊八月十日
火曜　壬辰　大安　危　翼宿
新九月十八日

十八日
日出　五、二五　　月出後　二、二八
日沒　五、四六　　月沒後　―
滿潮後　三、五五　　干潮前　六、四五
　　　　　　　　　干潮後　八、二五

斯界の權威
クロードネオン

ネオンサインの御撰擇は何より先づ品質の秀麗、耐久力、豐富、就中設備の完備が最要件であります、クロードネオンはネオンサインの發明者佛人ジヨルジユ、クロード博士の特許に依つて製作されたものでありますから之等一切の條件を完備したもので不完全な特許侵害品や模造品とは自ら其性質を異にして斷然他製品の追從を許さないものであります。

御申込次第型錄進呈御相談に應じます。

クロードネオン代理店
日東商會
電話四二八

内科
平　南町（電二四三）
川井内科診療所
川井安子